



平和 茶碗の図
人間国宝 荒川豊蔵氏筆

多治見西 RC 創立 10 周年記念誌より

右写真 平成 23 年多治見駅前



例会日 毎週木曜日
事務局 多治見市新町 1-23
産業文化センター 4F
TEL 0572-25-5100 FAX 0572-25-5101
E-mail : n-rc@joy.ocn.ne.jp
HP <http://tajiminishi.jimdo.com/>
会長 佐藤 正 幹事 古田徳夫
会報 佐藤八郎 堀 義紀

第 2630 地区

第 46 期会長テーマ
「つなげよう奉仕の心」



第 2220 例会 2012 年 1 月 26 日 (木)

本日のプログラム

点 鐘
ロータリーソング
それこそロータリー
四つのテスト

会長挨拶
出席・スマイル報告
委員会報告
幹事報告

卓 話 鈴木康俊様
「オリンパス問題とサラリーマン」

点 鐘

・ 下半期地区関係資金・ガバナー事務所
分担金送金依頼

- ① 地区運営拠出金
- ② ガバナー連絡会議
- ③ R 文庫運営委員会
- ④ 地区社会奉仕積立金
- ⑤ R 財団研究グループ交換積立金
- ⑥ ガバナー事務所分担金
- ⑦ ガバナー月信

・ 米山記念奨学会下半期寄付金依頼

・ ロータリーの友購読料依頼 (1 月～6 月)

鈴木康俊様略歴

生年月日 昭和 25 年 6 月 7 日
昭和 49 年 3 月 立命館大学法学部卒業
前東濃信用金庫常勤理事
平成 14 年 6 月 当クラブ入会
平成 17 年 4 月 当クラブ退会
平成 23 年 1 月 個人事務所開業

鈴木さんのブログ

私の
ブログ



★<http://officebw.blog.ocn.ne.jp>

着信書類

- ・ 1 月のロータリーレイト 78 円
- ・ 岐阜西ロータリークラブより
50 周年記念誌 拝受
- ・ ガバナー事務所より
2011～12 年度チェンジメーカー賞と
会長賞の手続きについて

先週の記録

◆ 出席報告

(出席免除者 4 名内出席者 1 名)

出席者	欠席者	出席率
28 名	4 名	80.0%

◆ スマイル報告

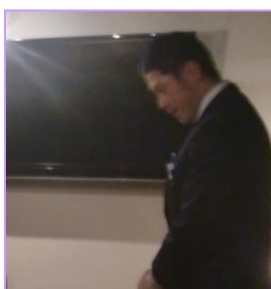
投函者 16 名 金額 27,000 円

- ・ 齋藤順さんを偲んで。 山崎正司
- ・ 齋藤順葬儀に多数ご参加下さりありがとうございました。 齋藤 明
- ・ 石垣先生と初めて法仙坊でゴルフをご一緒させて戴き、有意義な一日でした。 山口 寛
- ・ 本年もよろしくお祈りします。 今井義郎
- ・ 花、ありがとうございました。 山田正史



46 期上半期決算報告
会計 古田光國君

47 期委員会構成発表
会長エレクト
各務和宏君



ローターアクト年始会にて
←1月13日(金)
於：ばんざい
大江会長挨拶

上半期を終えて

多治見ローターアクトクラブ

会長 大江真之

私は「多治見ルネッサンス」というクラブターゲットを掲げて、多治見ローターアクトクラブを運営してきました。ルネッサンスという言葉は「原点回帰・再生」と言った意味を持っています。

「クラブを活気のあったあの頃に戻したい」、その一心で様々な取り組みを行ってきました上半期でしたが、会員増強などに関しては目に見えた成果は上がりませんでした。本来、会員増強の中心的な役割を果たすべく会長、幹事が地元の人間ではなく、声をかける人が限られていたという事や、クラブ運営の大変さばかり目に付き、メンバーが「大切な友達を誘ってもいいものか」と足踏みしてしまったのが大きかったと思います。

しかし、少人数ながら、手探りですがクラブとして少しずつまとまりを取り戻して部分もあり、これからこの輪が広がって、クラブ員同士の意識が高まり、目標とする活気ある「原点」に到達出来たらと思います。

「原点回帰」には「もっと奉仕活動しよう」といった意味も込めたので、今期は若干固めの例会が多いですが、細かい部分でクラブ員の要望があれば「楽しさ」の部分も取り入れて、全員が主体性を発揮できる、やりがいあるクラブを目指したいです。あと半年、下半期が残っています。上半期に蒔いた種をクラブ皆で刈り取れるよう、悔いの残らぬよう全力で頑張りますので、提唱ロータークラブの皆様、今後とも何卒、よろしくお願い致します。(抜粋)

ロータリーのイロハ NO. 5

ロータリーの父、生みの親ポールハリスは1947年1月に亡くなっています。79歳でした。ポールハリスは自伝の中で「ロータリーとは何だ？」この問いは何千という答えが何千という人によって用意されます。「これに答えるには依然として難しい。どうでもよろしい。」と断言しています。妥協を許さない手続要覧、各種の規定、決議とは大いに違った解答をしているのに驚きます。ロータリー創始者の自らの言ですので間違いありません。つまりロータリーはフワツとした、ボヤツとした、ある種のあいまいさを持ったファジーなものなんだと解釈できます。今、ロータリーは綱領、手続要覧などの理論づけ、充成された組織、強い資金力などにより巨大な建物となっています。建物がいくら大きくとも、その中身はロータリーの心が肝心と思います。ギスギスと固く考えたロータリーよりも軟らかくとらえたロータリーを理想としたものです。いかがでしょうか？

(会報子)